

- 一宮市には森林がないことから、公共施設における木造化・木質化や、木製品調達の促進、木育の機会の創出といった普及啓発に取り組むこととしている。
- このため、令和5年度においては、木曽川尾西緑地内のスケートパーク整備工事において、休憩施設であるベンチに、国産木材を材料として使用した。

□ 事業内容

公共施設の木材利用

- ・ベンチの材料に国産木材を使用することにより、周辺の風景と調和した施設を設置した。

【事業費】16,441千円（うち譲与税1,564千円）
（譲与税は、ベンチ設置費に係る部分に充当）

【実績】木材使用量0.31m³

□ 取組の背景

- ・スケートパークを設置するにあたり、休憩施設としてベンチを設置することにした。周辺環境は、芝生や河に囲まれているため、国産木材をベンチに使用することにより、周辺の風景に調和する整備を行うことにした。



（全景）



（スケボー型ベンチ）

□ 工夫・留意した点

- ・スケートパークの整備であることから、ベンチはスケボーの形としたかった。そこで、木材は加工がし易く、容易に形が変えられるため、材料としての利点を活かすことができた。

□ 取組の効果

- ・ベンチの座板に木材を使用することにより、木材利用の促進につながった。
- ・材料に木材を使用することで、景色と調和することができ、座った際に木の『ぬくもり』を利用者に肌で感じていただき、木の良さを利用者にPRできた。

◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：39,902千円		②私有林人工林面積（※1）：0 ha	
③林野率（※1）：0%	④人口（※2）：380,073人		⑤林業就業者数（※2）：1人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より